

多摩消防団だより

第 5 号
 発行
 平成 21 年 3 月 吉日
 多摩消防団広報部
 印刷
 井上印刷所



年頭にあたり

多摩消防団長 松澤忠志

平成二十一年新春を迎え皆様方には心からお慶び申し上げます。

一月六日多摩地区消防出初式が盛大に行われました事に心からお礼申し上げます。会場がよみうりランド駐車場に変更され、大変心配しておりましたが、今までになく大勢の区民の皆様方の参加を頂き挙行されました。これもひとえに消防に対する期待と激励と思いい地域の安全、安心のために力を尽くす所存であります。

新年度に入りますが各分団、各班におかれましては、地域の活動や行事に積極的に参加をし、市民の防災に対する意識を高め、災害、火災を少しでも無くす事が我々団員の使命とします。各団員のご協力よろしくお願い致します。結びにあたり、皆様方の御健勝と御繁栄を心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶と致します。

平成二十一年 多摩区消防出初式受賞者 (敬称略)

市長表彰

永年勤続功勞消防団員

稲田分団 副分団長 吉澤偉臣
 生田分団 分団部長 小島哲也
 生田分団 団員 荻米正人
 退職消防団員功勞者
 元本団 副団長 竹間清房
 元本団 消防部長 伊藤和良

退職消防団員

元本団 副団長 竹間清房
 元本団 消防部長 伊藤和良
 元稲田分団 班長 鹿島昭彦
 元稲田分団 班長 小倉一浩
 元稲田分団 団員 関谷克典
 元稲田分団 団員 古谷 敏
 元稲田分団 団員 鈴木利幸
 元稲田分団 団員 山田達哉
 元稲田分団 団員 根津善行
 元稲田分団 団員 織川伸也
 元生田分団 団員 横瀬匡志

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員
 稲田分団 分団部長 大貫欽也
 生田分団 分団部長 木下新一
 勤務成績優良消防団員
 稲田分団

川崎市防火協会連合会長表彰

消防協力者
 松澤忠志 (多摩消防団長)

多摩防火協会会長表彰

消防功勞部隊
 稲田分団 長尾班
 生田分団 大作班

生田分団
 東生田班 団員 河野 順
 中央生田班 団員 漆原英樹
 長沢班 団員 松澤善治
 大作班 団員 原田貴好

まちぐるみ

スクラム組んで

火の用心

中高層建築物における合同消火訓練

生田分団東生田班 班長 河原 淳

平成二十年十一月三日、東三田レディアン
トシティ向ヶ丘遊園イタリア街区において、
自主防災組織と署、そして我が消防団との合
同訓練を開催しました。

耐火構造十五階建の十階部分から出火の想
定で前半にはしご車を使用した救助消火訓
練、後半に住民を対象とした煙体験や水消火
訓練を署員二十六人、団員二十四人総勢百五
十人の協力体制の中、約二時間で行なわれま
した。消防団員は各階に待機し、住民の避難
誘導や安全管理、そして連結送水管の取扱等
の防火設備の現況の把握をしました。



消防団員幹部候補研修を受講して

稲田分団副分団長 吉澤偉臣

今回私は、神奈川県消防団員保養所まとい
荘にて一泊二日の研修を受講してきました。
残念なことに、まとい荘は今年度末をもって
閉館することになり、ここでの最後の研修会
でした。この研修は班長、団員が対象でこれ
から幹部や班長になり指揮者としての幅広い
知識を養成する目的の研修でした。

本研修に参加して感じたことは幹部になつ
たら団員に対し自分の知っている技術、知識
等を団員に伝える使命があり、正しく安全に
指揮しなければなりません。

また、防災、生活安全アドバイザーの講演
では、

- ① 普段から音の出る物を持っていれば、震
災時に自分の居場所を知らせる事が出来
る。
- ② 四十五リットル程度のビニール袋に空気
を入れてかぶれば、火災時に煙から身を
守ることが出来る。
- ③ お薬手帳は阪神淡路震災時に必要性があ
ると分かり実現されたので、薬を服用し
ている者は普段から携帯すると良い。

といった話がありました。
最後に、我々多摩消防団員は、地域から必
要とされる消防団になり、消防団員である
という誇りをもち消防団活動を行なってい
きましょう。

川崎市消防団協力事業所表示制度開始

消防団に積極的に協力している事業所への
表示制度が始まりました。多摩区内では、本
団三平消防部長が代表を務める有限会社菱三
商事が最初の認定を受け、表示証を交付さ
れました。また、平成二十年十一月十日に消防
局において式典が行なわれ全市で八十二事業
所が認定されました。

年末警備

稲田分団

十二月三十一日には消防車で担当地区内の
巡回警備を行いました。年末年始の忙しい時
期では、少しの気の緩みが火災に繋がります。
皆様方も日頃からの防火、防災に御協力お願
い致します。

生田分団

十二月三十一日には町内に火災予防の立て
看板を設置し、管轄区域内の夜警を行い、放
火等を未然に防ぐ為の広報活動を行っていま
す。

救急救命講習

平成二十一年一月三十一日(土)多摩消防
署において三月に退団された、竹間氏と伊藤
氏から寄与された訓練用人形とAEDを活用
し団員四十一名が参加し講習会が実施し、三
時間に及ぶ実技講習等を行ないました。

火災出動を経験して（入団一、二年団員）
稲田分団

登戸班 鈴木賢司

火災現場での消防団の仕事は消防署員の後方支援だと思っていました。先輩方が最前線で消火活動を行っている姿を見て日頃の訓練をあらためてしっかりと行わなければならぬと感じました。今後も先輩達の指導の下、地域の防災意識の高揚に少しでも貢献できるように努力していきたいと思えます。

中野島班 伊藤巡一

私は、今年の四月に消防団に入り、先日初めて火災活動をさせていただきましたことになりました。消防団・消防隊の方々の緊張感を肌と感じ、自信も身が引き締まる思いで現場活動に取り組みました。

私自身も自営業で火を扱っているのですが、今一度「火」の怖さを痛感しました。消防団を通じて、貴重な経験をしたと思います。

宿河原・堰班 元木幸一

夏真っ盛り。それが私の初出動の日となりました。緊張と不安の中、自分にできる精一杯の行動をしました。そんな中で、近隣の方の暖かいお言葉等に消防団の価値を改めて感じる事ができました。その一方で、「通行の邪魔」等と言う利己主義な人もいて、現代社会の歪みをも同時に感じてしまいました。

長尾班 増田哲史

入団して消火活動に携わって、様々な火災の状況や火の凄さ火災の危険性を実感しました。より防火の気持ちが強くなり今後も地域の方や先輩方の教えを守り防火に努めていきたいと思えます。

生田分団

東生田班 高橋宏行

私は消防団に入団して一年未満で、まだ大きな火災に直面していませんが、その時は先輩方の指示に従い、落ちていて行動すると共に、少しでも早く消火活動、人命救助に協力できたと思います。でも、火災は起きない方がいいですね。

中央生田班 岸 和志

火災現場では、消防署と消防団とが協力し、まさに車輛の両輪となって、緊張の張り詰めた空気の中、危険を伴う活動を行っています。その片輪の重さをしっかりと受け止め、わが街の安全を守るために、頑張りたいと思えます。宜しく願います。

大作班 佐藤清孝

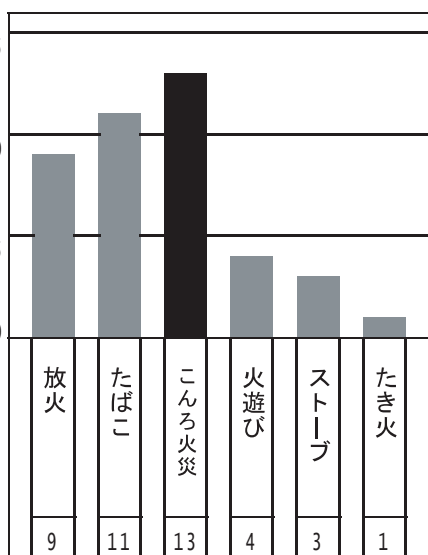
消防団に入り二年になりましたが、その間、何度か火災現場に行くことができました。現

場は、炎がすさまじく恐ろしさを実感しました。放水を行い、また、とび口で家の壁などを壊し、火が完全に鎮火しているか等の消火活動を行いました。

長沢班 関 賢人

初めての火災現場で、色々な物が焼け焦げた匂いが体に付いてなかなかとれなかったことや、撤収作業もホースを片付けたり、器具の点検や整理をしたりするなど大変だと思いました。また、交通整理や近隣住民の安全誘導など、消火活動以外にも色々することがあるのだと思いました。

二十年多摩区火災統計



多摩区では放火よりこんろ火災（天から火災）が多いので火の元に注意してください。

川崎市消防団操法大会

本大会は、八地区で各二チームの選抜を得た消防団が教育訓練の集大成として消防操法の技術を競い合うことにより、一層の技術の向上と士気の高揚を図り、もって本市消防団の活動能力の強化を図ることを目的としています。

川崎市操法大会出場にあたり

稲田分団登戸班 班長 元木洋一

今回、登戸班が市の大会に出場する機会を得、十六チーム出場中で第三位(優良賞)という荣誉に輝く事が出来ました。多くの方々に御支援、御指導を賜りまして深く感謝しております。

「安全に」「確実に」「迅速に」を心掛け、減点の無い操法を目指して三ヶ月の訓練を重ねてきました。各団員は研究を重ね役割分担をこなし、限られた時間の中で一致団結した質の高い訓練が出来ました。

大会当日は、いつも通りの操法演技さえ出来れば必ず上位入賞出来ると確信して、選手達は緊張感の中であわてる事なく実力を発揮する事が出来ました。また、ケガもなく訓練や大会を終える事が出来て本当に良かったと思っております。

今回の訓練や大会で得た貴重な経験は団員同士の結束力を高め、地域の防火防災活動に必ず役に立つ物だと信じています。

これからも日々研究と努力を重ね、質の高い操法訓練、充実した消防活動を行ってまいりますので宜しくお願ひ申し上げます。

応援して頂きました皆様、本当に有り難うございました。

出場選手

稲田分団 登戸班

指揮者 伊藤正則

一番員 小林 亮

二番員 瀬戸山洋平

三番員 小林信往

生田分団 長沢班

指揮者 米山恵司

一番員 山下洋平

二番員 関 賢人

三番員 稲木 剛

大会成績

最優秀賞 中原消防団 大戸分団

優秀賞 麻生消防団 東柿生分団

優良賞 臨港消防団 第一分団第一班

優良賞 多摩消防団 稲田分団登戸班

敢闘賞 多摩消防団 生田分団長沢班



第十回多摩消防団消防大会開催場所の変更

市立南菅中学校から明治大学生田校舎敷地内に変更となりますのでお知らせいたします。



生田分団長沢班

稲田分団登戸班

編集後記

多摩消防団だより第五号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同